

大分岡病院:ラダー表

レベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ	
レベルの定義	基本的な看護手順に従い 必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して 看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な 看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち 看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手に とっての最適手段を選択しQOLを 高めるための看護を実践する	
看護実践能力	目標	助言を得てケアの受け手や状況(場)の ニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを 自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性を ふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合し ニーズをとらえる	
	ニーズをとらえる力	<input type="checkbox"/> 4側面から情報収集・アセスメントができる <input type="checkbox"/> 観察やデータに基づき、正常・異常の判断ができる <input type="checkbox"/> 疾患や障害による日常生活の留意点を挙げることができる <input type="checkbox"/> 患者・家族を生活者としてとらえられる <input type="checkbox"/> もっともケアが必要なニーズを挙げるができる <input type="checkbox"/> 守秘義務の遵守ができる	<input type="checkbox"/> 患者・家族の全体像を4つの側面で整理し情報を関連づけ、全体像の要約ができる <input type="checkbox"/> 比較的安定している状態に対して、正確なフィジカルアセスメントと適時性のある報告ができる <input type="checkbox"/> 疾患や障害による日常生活上の留意点をあげることができる <input type="checkbox"/> 苦痛・安楽の視点から生活における不自由さを把握できる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況において個別性をふまえ、4つの側面で情報を整理できる <input type="checkbox"/> 呼吸不全/心不全に対して、状況や優先度に応じたフィジカルアセスメントを行い説明できる <input type="checkbox"/> 感情表出を促進するコミュニケーションを実施できる <input type="checkbox"/> ニーズについて、多職種と情報共有し、専門家の介入の必要性を判断できる <input type="checkbox"/> 患者・家族の価値観に応じたニーズの判断ができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況において情報を4つの側面で整理・アセスメントできる <input type="checkbox"/> 優先度に応じたフィジカルアセスメントを行い、状況判断・おこりうる課題の予測ができる <input type="checkbox"/> 社会資源の過不足がわかる <input type="checkbox"/> ニーズについて、多職種と情報共有し、専門家の介入の必要性を判断できる <input type="checkbox"/> 潜在的・顕在的ニーズを抽出できる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況において情報を4つの側面で整理・アセスメントできる <input type="checkbox"/> 状況や状態の優先度に応じてフィジカルアセスメントを行い、状況判断・予測ができる <input type="checkbox"/> 社会資源の過不足がわかる <input type="checkbox"/> ニーズについて、多職種と情報共有し、専門家の介入の必要性を判断できる <input type="checkbox"/> 患者・家族の全体像を要約し、解決すべき課題が明確化できる
	目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を 実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた 看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を 実践する
	ケアする力	<input type="checkbox"/> 患者・家族のニーズに沿った基本的な日常生活援助技術を、安全に実施できる <input type="checkbox"/> ケアの過不足や問題点を見出すことができる <input type="checkbox"/> 看護記録ができる <input type="checkbox"/> 事故事例から、具体的対策方法を理解できる <input type="checkbox"/> 災害発生時の連絡体制について初期行動がわかる <input type="checkbox"/> 暴言・暴力・ハラスメントに気付き報告できる <input type="checkbox"/> 感染予防策の基本を遵守し、経路別予防策を行うことができる <input type="checkbox"/> 患者の病態を理解できる <input type="checkbox"/> 医薬品管理の留意点を理解して、安全に薬剤を投与することができる <input type="checkbox"/> 一次救命処置の方法を理解し、実施できる	<input type="checkbox"/> 患者・家族の苦痛や安楽・安寧を確認しながら基本的な看護技術を実施できる <input type="checkbox"/> リフレクションにより自身の実施したケアの評価ができる <input type="checkbox"/> 看護記録を正確に記載できる <input type="checkbox"/> 災害発生時を想定した初期行動を実施できる <input type="checkbox"/> 暴言・暴力・ハラスメントから身を守ることができる <input type="checkbox"/> 感染リスクをアセスメントし、看護計画を立案・実施できる <input type="checkbox"/> 患者の病態理解に基づきアセスメントを実施できる <input type="checkbox"/> ハイリスク薬剤の基本知識を理解した上で、薬剤投与前後の観察を実施できる <input type="checkbox"/> 急変時の状況を把握し、対応・記録ができる	<input type="checkbox"/> 個別性をふまえた看護について、早期在宅復帰支援の点や苦痛の緩和をふまえて説明できる <input type="checkbox"/> 病態理解に基づいたアセスメントから症状緩和あるいは悪化しないためのケアを実施できる <input type="checkbox"/> 日常の看護提供場面における事故発生リスクに気づき、解決策を立案できる <input type="checkbox"/> 暴言・暴力・ハラスメントに対して対応・防止できる <input type="checkbox"/> 事故事例を用いて、事故発生の要因を分析し、解決策を立案できる <input type="checkbox"/> 感染発生時に、マニュアルや基準に沿って感染拡大防止の対応を実施し、その情報を共有できる <input type="checkbox"/> 患者の症状や副作用から、薬物の使用の有無や増減等の検討の必要性を提案できる <input type="checkbox"/> 救命救急場面においてリーダーシップを発揮して対応できる	<input type="checkbox"/> ケアの改善について問題抽出と分析、解決策の実行とその評価について説明できる <input type="checkbox"/> 患者に提供されているケアを病態生理と関連付けて確認し、問題点や改善点を発見できる <input type="checkbox"/> 顕在的・潜在的ニーズに対し、幅広い視野から看護ケアの提案・実施ができる <input type="checkbox"/> 常に療養環境が安全であるか配慮した調整を実施できる <input type="checkbox"/> 実践の場における安全に関するリスクを予測した問題提起とその対応策を提案できる <input type="checkbox"/> 感染発生時に、幅広い可能性を考慮しながらリスクをアセスメントし、対応策を挙げるができる <input type="checkbox"/> 救命救急場面においてその場にいるメンバーでチームを構成し、連携して救命処置を実施できる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況におけるケアの改善について、最善のアウトカムを見据えたケア提供を行い、根拠に基づく自律的評価ができる <input type="checkbox"/> ケアの改善や課題の解決に向けてリーダーシップが発揮できる <input type="checkbox"/> 実践の場における安全管理に関する問題解決に向けた計画的な行動を実施できる <input type="checkbox"/> 実践の場における安全に関するリスクについて多職種間とリスクや対応策の共有を実施できる <input type="checkbox"/> 複雑な状況における救命救急についてチームと連携した対応を説明できる
	目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を 看護に活かす事ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に 必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に 伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種 も含めた調整的役割を担うことができる
意思決定を支える力	<input type="checkbox"/> 患者や家族の話を誠実かつ受容的にきくことができる <input type="checkbox"/> 患者や家族の思いや考え・希望と自身の価値観を整理できる <input type="checkbox"/> 日常の看護提供場面において、わかりやすい説明による同意を得ることができる <input type="checkbox"/> 看護師として自覚と責任をもった行動ができる <input type="checkbox"/> 看取りの際の体制について理解できる	<input type="checkbox"/> 意思決定支援が必要な場面に参加し、患者・家族の思いや考えを確認できる <input type="checkbox"/> 患者や家族の思いや考え・希望から価値観を推察し、ケアの計画・実施ができる <input type="checkbox"/> 人権を尊重した行動ができる <input type="checkbox"/> 日常の看護提供場面における倫理的ジレンマに気づき、発言して表現できる <input type="checkbox"/> 人生の最終段階における状態変化を理解できる	<input type="checkbox"/> 意思決定支援について、患者・家族の思いや情報の整理・時間的猶予・意思決定能力等をふまえて説明できる <input type="checkbox"/> 意思決定の困難な状況における支援について、権利擁護や多職種チームとの検討をふまえて説明できる <input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマから倫理的問題や課題を明確にできる <input type="checkbox"/> 日常の看護提供を振り返り、自身の役割や責任を理解できる <input type="checkbox"/> 人生の最終段階における苦痛の緩和を実施できる <input type="checkbox"/> 臨死期のケアの受け手の尊厳を守り、周囲の人々の心情に配慮したケアや声かけを実施できる	<input type="checkbox"/> 意思決定支援について、家族ダイナミクスや意思決定プロセスの促進・患者の状況予測や様々な側面の変化の見通し・多職種チームとの連携等をふまえ、説明できる <input type="checkbox"/> 意思決定の困難な状況における支援について、権利擁護や多職種チームとの検討等をふまえて説明できる <input type="checkbox"/> 倫理的問題や課題について、チームで検討できる <input type="checkbox"/> 看取り場面における環境調整の必要性がわかる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の周囲の人々に対する看取りに向けた支援について説明できる	<input type="checkbox"/> チームを動かして実施する意思決定支援について、患者・家族の思いや家族ダイナミクス・患者の状況の予測や様々な側面の変化の見通し・法的・文化的配慮等をふまえて説明できる <input type="checkbox"/> 複雑な状況における支援について、権利擁護・周囲の人々の意向・多職種チームとの検討・意思決定の妥当性の評価をふまえて説明できる <input type="checkbox"/> 倫理的問題や課題から、既存の仕組みやルール等を見直す提案ができる <input type="checkbox"/> 事例を用いて、看取り後の評価を実施できる	
目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、 情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と 連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し 連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できる ように、多職種の力を引き出し連携に活かす	
協働する力	<input type="checkbox"/> 情報を正しく伝えることができる <input type="checkbox"/> カンファレンスに参加して、自身のもつ情報を発言できる <input type="checkbox"/> 地域の中で利用する社会資源を把握できる <input type="checkbox"/> 社会資源の過不足の検討の視点を理解できる	<input type="checkbox"/> 看護の方向性を分かりやすく伝えることができる <input type="checkbox"/> カンファレンスや調整会議において、必要な情報の収集と提供を行うことができる <input type="checkbox"/> 患者や家族・多職種とのコミュニケーションにおける自己の課題を理解できる <input type="checkbox"/> 地域内の施設や職種を把握できる <input type="checkbox"/> 療養の場やその役割を理解できる <input type="checkbox"/> 社会資源の過不足について検討できる	<input type="checkbox"/> 多職種カンファレンスについて、看護師の役割や多職種連携の必要性について説明できる <input type="checkbox"/> 地域連携について地域の施設や多職種の役割・調整の内容や方法について説明できる <input type="checkbox"/> 患者・家族の療養の場やその役割を理解し、地域連携における自身の役割を説明できる <input type="checkbox"/> 患者・家族の希望する生活のために必要となる社会資源の過不足について検討し、コンサルテーションできる	<input type="checkbox"/> チームでの協働について、多職種の効果的な役割発揮や調整方法、役割分担について説明できる <input type="checkbox"/> 複雑な状況におけるチームでの協働について、看護情報やケアの目標の共有化・役割分担について説明できる <input type="checkbox"/> 地域のネットワーク会議等、他施設の看護師の参加する会議や場へ参加し、その目的や参加者の背景を理解できる	<input type="checkbox"/> 主体的にチームを構成し、ケア提供における多職種連携を牽引するリーダーシップを発揮できる <input type="checkbox"/> 複雑な状況におけるカンファレンスや会議等のファシリテーションについて、事例を用いて説明できる <input type="checkbox"/> 地域の看護師と顔の見えるネットワーク構築やつながりを持ち、各立場の役割と自身の役割を踏まえてケア提供における地域連携の方法を提案できる	
組織的役割遂行	目標	社会人・組織人としての自覚をもち行動する	専門職業人・組織人として、組織の中 での役割を果たす	チーム全体の状況を捉えて行動する	所属部署で、専門的役割、または指導的 役割を遂行する	
		<input type="checkbox"/> 社会人・組織人としての自覚をもち行動できる <input type="checkbox"/> 組織の中でチームメンバーとして役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 医療安全および感染対策マニュアルの存在がわかる <input type="checkbox"/> 災害時の避難経路が理解できる	<input type="checkbox"/> チームの一員としてメンバーシップを発揮した行動ができる <input type="checkbox"/> 院内ルールを守り組織人として行動できる <input type="checkbox"/> 災害時、アクションプランに基づいて行動できる	<input type="checkbox"/> 日々のリーダーとしての行動ができる <input type="checkbox"/> 後輩育成の責務を自覚し、行動できる <input type="checkbox"/> 災害時、アクションプランに基づいて指示指導ができる <input type="checkbox"/> 多職種のメンバーと共に、ケアを再検討し、評価できる	<input type="checkbox"/> チームリーダーとしての行動ができる <input type="checkbox"/> 看護の専門性を発揮し、所属部署が効果的な看護実践を行えるよう、調整できる <input type="checkbox"/> 所属部署の災害時のアクションプラン作成や評価・見直しに参画できる <input type="checkbox"/> 協力関係を維持して効果的な職種横断的なチームワークに貢献できる	<input type="checkbox"/> 所属部署のリーダーとしての行動ができる <input type="checkbox"/> 課題が発生した時に、多職種を含めた調整的役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 不測の事態や状況の変化に対応し、効果的に対応できる <input type="checkbox"/> 多職種や地域社会と協議できる
教育・研究	目標	指導・助言を受けながら、自己の教育的 課題に気付く	自己の教育的課題を見出す	自己の教育的課題達成に向けた教育活動 を展開する	自己の教育活動に積極的に取り組むと 共に、指導的な役割を実践する	
		<input type="checkbox"/> 看護実践を振り返り自己学習できる <input type="checkbox"/> 看護実践を通して自己の看護の課題を見出すことができる	<input type="checkbox"/> 院内・院外研修に積極的に参加し、学習できる <input type="checkbox"/> 自己の看護の課題に対して、積極的に取り組むことができる	<input type="checkbox"/> 自己の課題を明確にし、キャリアプランを立案できる <input type="checkbox"/> 研究的視点を持ち看護実践に活用することができる	<input type="checkbox"/> キャリア達成に向けて自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 継続的に研究に取り組み、看護実践に活用することができる <input type="checkbox"/> 効果的な役割モデルとして行動できる	<input type="checkbox"/> 専門領域や高度な看護技術などについて、自己教育活動を展開する <input type="checkbox"/> 計画的・継続的に学習することができる <input type="checkbox"/> 研究活動を継続し看護の質の向上に貢献できる <input type="checkbox"/> 全人的・分析的・効率的に、実践した看護を自ら定期的に見直すことができる